

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	S2-9
研究課題名	中間貯蔵施設周辺復興地域の融合的な環境再生・環境創生に向けた研究
研究実施期間	2022（令和 4）年度～2024（令和 6）年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	遠藤 和人

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

効率的かつ低コストの除去土壌等有効利用技術システムのシナリオ提案、地域復興の具体的なイメージを生み出す将来デザインの提案、公正性ととも社会・経済面を考慮した合意形成フレームワークの立案を目的とした。Cs の飛灰中濃縮を焦点とした吸着特性評価、固形化技術の最適化に資する長期溶出挙動評価法の提案等の技術的成果、地域に内在する暗黙知等をパターン・ランゲージとして形式知化した地域づくりの新たな理論的枠組みの提示と生態系サービス評価、および社会受容性の意思決定要因や中間貯蔵施設立地地域の特性の多角的抽出と相互の検証等、多面的で困難な課題に対し多くの政策貢献に資する成果をあげたことが高く評価された。一方、3 つのテーマ間の連携が全体成果にどのように結びついたのかという点でわかりにくさがあったこと、溶融飛灰処理シナリオとともに除去土壌への技術的展望との関係、客観的リスク評価に基づく受容性評価などが今後の課題と考えられた。